

彩る書

前期 | 2024年7月13日[土]~9月1日[日] 後期 | 2024年9月4日[水]~10月28日[月]

会場 | コレクションラボ

主催 | 八戸市美術館

担当学芸員 | 田村由衣

前期

番号	作品名	作家	制作年	材質、技法
1	甲骨文（臨書）	佐々木月花	1994年	紙、墨
2	蘇東坡 黄州寒食詩卷一首（臨書）	佐々木月花	2006年	紙、墨
3	杏花紅潤含宵露 柳葉青舒抹曉烟	女鹿左織	1952年	紙、墨
4	源氏物語 須磨	熊谷渓雨	1981年	紙、墨
5	寒山（夏）	佐々木泰南	1974年	紙、墨
6	子夜吳歌	佐々木泰南	1979年	紙、墨
7	龍翻瀚海波濤壯 鶴出金籬燕雀驚	中村眉山	制作年不詳	紙、墨
8	靈湖山中遙濤如白馬來	音喜多七竜	1960年	紙、墨
9	今日無事	田名部房香	2002年	紙、墨
10	墨象	宇山博明	制作年不詳	紙、墨
11	水	宇山博明	制作年不詳	紙、墨
12	山	宇山博明	制作年不詳	紙、墨
13	土・風	宇山博明	制作年不詳	紙、墨
14	ゼツボウ	和井田要	制作年不詳	紙、墨
15	赤白黒	和井田要	制作年不詳	紙、墨
16	壹	和井田要	制作年不詳	紙、墨
17	實	和井田要	制作年不詳	紙、墨

後期

番号	作品名	作家	制作年	技法、材質
1	佐理 離洛帖（臨書）	佐々木月花	2000年	紙、墨
2	臨書 一条摶政集	熊谷渓雨	1987年	紙、墨
3	大鵬一擧九萬里	久保節	制作年不詳	紙、墨
4	巡る	田名部房香	1999年	紙、墨
5	寒山（秋）	佐々木泰南	1969年	紙、墨
6	山中寄諸弟妹 〈王維詩〉	佐々木泰南	1957年	紙、墨
7	壽	佐々木月花	2014年	紙、金泥
8	旧裏春風似相淺 …	女鹿左織	1952年	紙、墨
9	劉長卿詩 「秋江渺々…」	熊谷渓雨	1977年	紙、墨
10	風	宇山博明	制作年不詳	紙、墨
11	空	宇山博明	制作年不詳	紙、墨
12	縄文	宇山博明	1975年	紙、墨
13	無・柵	宇山博明	1952年	紙、墨
14	セイゾン	和井田要	制作年不詳	紙、墨
15	解	和井田要	1953年	紙、墨
16	子と馬	和井田要	制作年不詳	紙、墨
17	無	和井田要	1961年	紙、墨



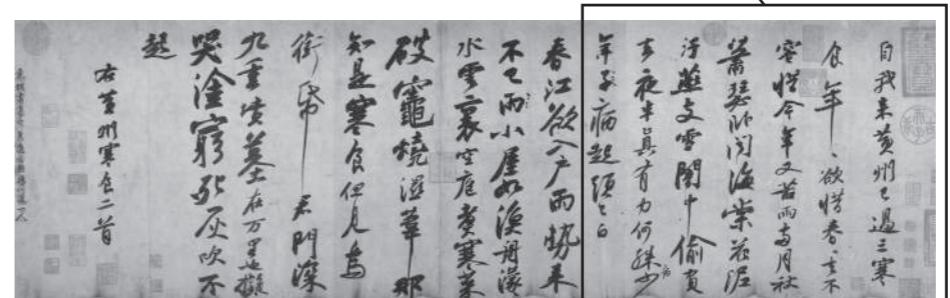
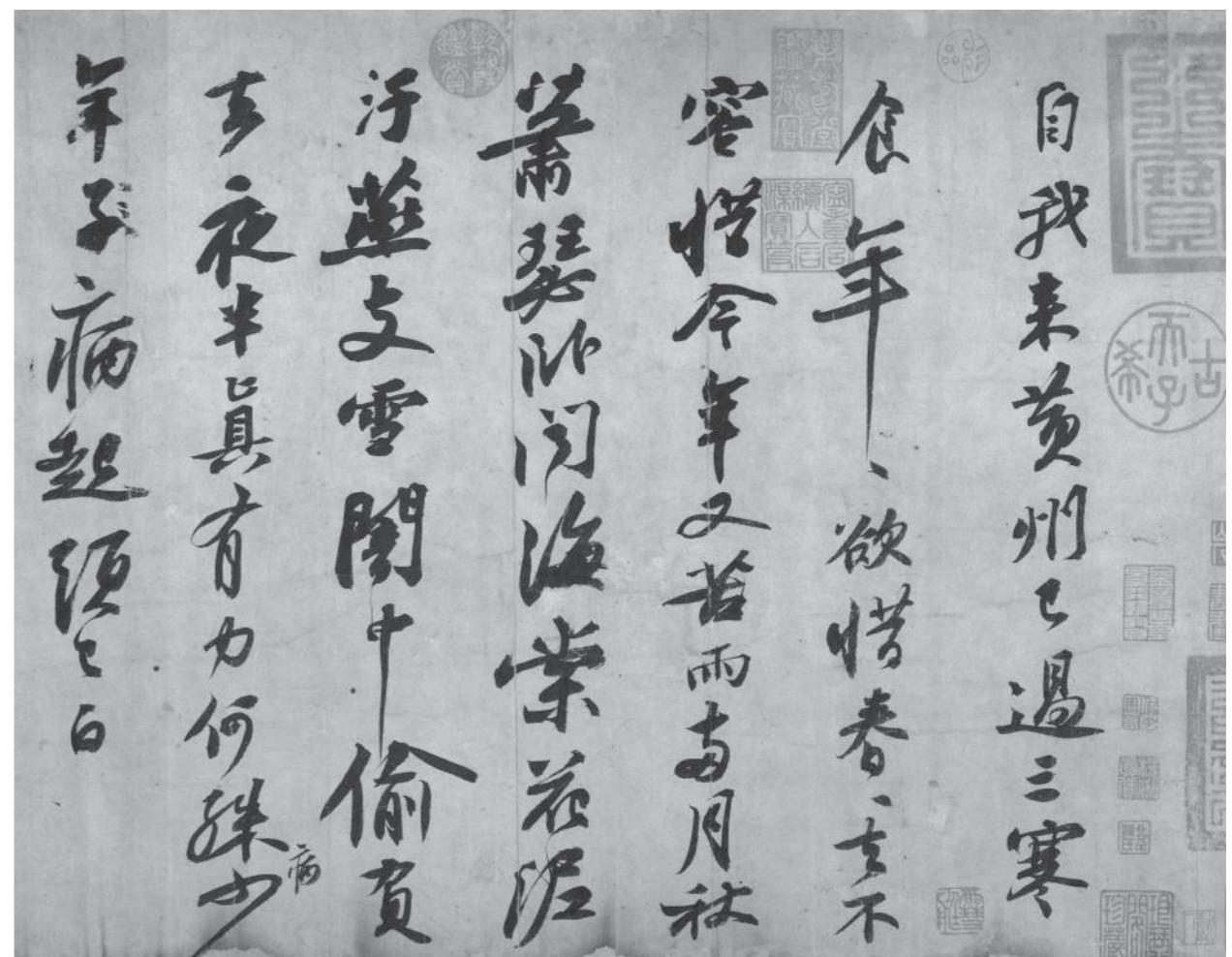
書を彩る鑑賞シート 1

1 「よくわからない」は鑑賞の第一歩

作品を前にしたとき、「よくわからない」と感じたら、筆の動きを想像しながら、作品の前に立って指で空中に書いてみたり、この鑑賞シートを鉛筆でなぞってみたりしてください。空いたスペースに文字をまねて書いてみてもかまいません。

筆の運びや強弱などの細部に注目しながら文字を追うことで、文字の形が見えてきて、作者の気持ちを感じるきっかけになります。

なぞって、文字を追ってみる。



文字を追ってみると、最後の一画が長く書かれたり、急に小さく書かれたりすることに気が付きます。後から付け足されたように、行からはみ出した字も見つけてみてください。作者は、そのときの気持ちにまかせて筆を走らせ、書き直さずに、この作品を書き上げたのかもしれません。

書を彩る鑑賞シート 2

2 書には作者の個性や感情が込められている

みなさんが書く文字にも人それぞれの特徴があります。楽しい、悲しいなどの感情を文字の書きぶりで表すとしたら、あなたはどのように書きますか。同じ文字でも人によって、またはそのときの感情によってさまざまな書きぶりで表現されます。

文字で感情を伝えてみましょう（大きさ、濃さ、太さ、形など）

楽しい	→	嬉しい	→
悲しい	→	怒り	→

筆運びのリズムや線の太さ、墨の濃淡からどのように感じますか？



5

作品の特徴を見つけてみましょう。

どんな印象ですか？ また、どこからそう感じましたか？



9

作品の特徴を見つけてみましょう。

どんな印象ですか？ また、どこからそう感じましたか？

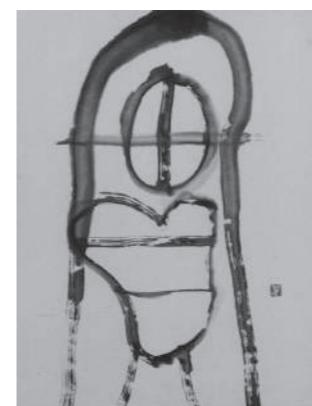
文字やその表現が人それぞれ異なるように、作品を鑑賞して感じることも人それぞれです。感じたことをもとに、作者はなぜこのように書いたのか、どのような気持ちで書いたのかを想像してみてください。

書を彩る鑑賞シート 3

3 鑑賞の仕方は自由

まずは作品タイトルや解説を見ずに、作品を見つめてください。文字が読めなくても、意味が分からなくても、遠目から眺めて作品全体を味わってみましょう。一部に注目して、線や点など、書を構成する要素のひとつひとつを分析してみてもよいかもしれません。

何が書かれているか自由に想像してみましょう。



17

あなたならどう表現しますか？

この作品のタイトルは《水》です。あなたならどのように表現するか、言葉で説明したり、実際に書いてみたりしてください。



11

作者はどんな水を書こうとしたのでしょうか？ また、どのように書こうとしたのでしょうか？

あなたが想像する「水」を書いてみましょう。

作者の感情を考えたり、自分なりに解釈してみたり、解説を読んで理解を深めたり、鑑賞にルールはありません。作品鑑賞をとおして、自分なりの“彩り”をみつけることはできましたか？

この鑑賞シートはお持ち帰りいただいても、入り口付近のテーブルにあるファイルに綴って帰ってもかまいません。

彩る書

前期 | 2024年7月13日 [土]~9月1日 [日] 後期 | 2024年9月4日 [水]~10月28日 [月]

会場 | コレクションラボ

主催 | 八戸市美術館

担当学芸員 | 田村由衣

前期

番号	作品名	作家	制作年	材質、技法
1	甲骨文（臨書）	佐々木月花	1994年	紙、墨
2	蘇東坡 黃州寒食詩卷一首（臨書）	佐々木月花	2006年	紙、墨
3	杏花紅潤含宵露 柳葉青舒抹曉烟	女鹿左織	1952年	紙、墨
4	源氏物語 須磨	熊谷溪雨	1981年	紙、墨
5	寒山（夏）	佐々木泰南	1974年	紙、墨
6	子夜吳歌	佐々木泰南	1979年	紙、墨
7	龍翻瀚海波濤壯 鶴出金籬燕雀驚	中村眉山	制作年不詳	紙、墨
8	靈湖山中遙濤如白馬來	音喜多七竜	1960年	紙、墨
9	今日無事	田名部房香	2002年	紙、墨
10	墨象	宇山博明	制作年不詳	紙、墨
11	水	宇山博明	制作年不詳	紙、墨
12	山	宇山博明	制作年不詳	紙、墨
13	土・風	宇山博明	制作年不詳	紙、墨
14	ゼツボウ	和井田要	制作年不詳	紙、墨
15	赤白黒	和井田要	制作年不詳	紙、墨
16	壹	和井田要	制作年不詳	紙、墨
17	實	和井田要	制作年不詳	紙、墨

後期

番号	作品名	作家	制作年	技法、材質
1	佐理 離洛帖（臨書）	佐々木月花	2000年	紙、墨
2	臨書 一条摂政集	熊谷渓雨	1987年	紙、墨
3	大鵬一擧九萬里	久保節	制作年不詳	紙、墨
4	巡る	田名部房香	1999年	紙、墨
5	寒山（秋）	佐々木泰南	1969年	紙、墨
6	山中寄諸弟妹 〈王維詩〉	佐々木泰南	1957年	紙、墨
7	壽	佐々木月花	2014年	紙、金泥
8	旧裏春風似相淺 …	女鹿左織	1952年	紙、墨
9	劉長卿詩 「秋江渺々…」	熊谷渓雨	1977年	紙、墨
10	風	宇山博明	制作年不詳	紙、墨
11	空	宇山博明	制作年不詳	紙、墨
12	縄文	宇山博明	1975年	紙、墨
13	無・柵	宇山博明	1952年	紙、墨
14	セイゾン	和井田要	制作年不詳	紙、墨
15	解	和井田要	1953年	紙、墨
16	子と馬	和井田要	制作年不詳	紙、墨
17	無	和井田要	1961年	紙、墨

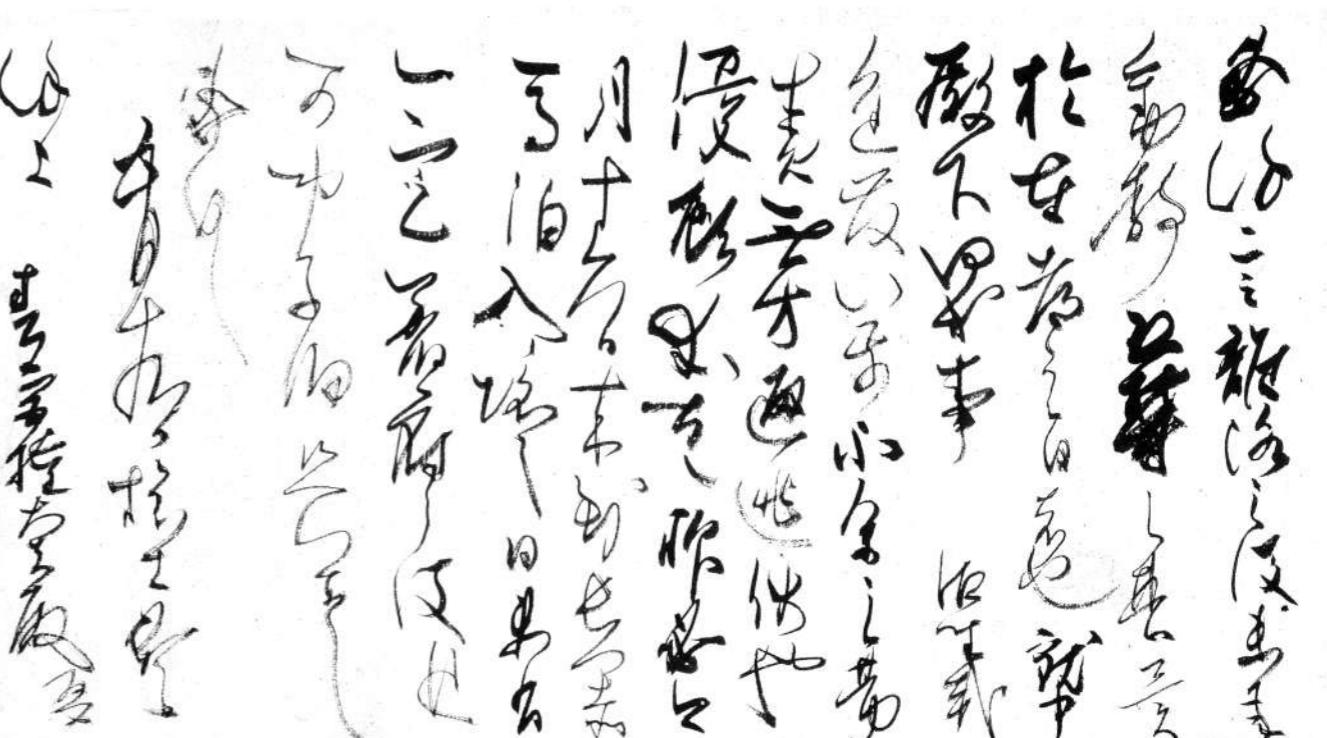
書を彩る鑑賞シート1

1 「よくわからない」は鑑賞の第一歩

作品を前にしたとき、「よくわからない」と感じたら、筆の動きを想像しながら、作品の前に立って指で空中に書いてみたり、この鑑賞シートを鉛筆でなぞってみたりしてください。空いたスペースに文字をまねて書いてみてもかまいません。

筆の運びや強弱などの細部に注目しながら文字を追うことで、文字の形が見えてきて、作者の気持ちや人柄を感じるきっかけになります。

なぞって、文字を追ってみる。



藤原佐理 《離洛帖》 『離洛帖 他 藤原佐理』より

日語訳 -

佐理が謹んで申し上げます。都を離れて後、お変わりありませんか。在京の折と違い、心ふさぐ気持ちです。特に、関白藤原道隆殿下はどうしていらっしゃいますか。出発前に挨拶に伺わなかつた責めは免れません。うまくとりなしていただけたら幸甚です。私は十六日に赤馬泊（山口県下関）に着きましたが、九州に渡る日は未定です。着任次第、子細を申し上げます。

走り書きのような勢いで書かれています。文字を追ってみると、太い線や流れるような線があることに気がつきます。実は、これは詫び状です。詫び状なら一字一句を丁寧に書くのがよいのではと思いますが、自由人といわれた作者の性格が現れているのかもしれません。



書を彩る鑑賞シート 2

2 書には作者の個性や感情が込められている

みなさんが書く文字にも人それぞれの特徴があります。楽しい、悲しいなどの感情を文字の書きぶりで表すとしたら、あなたはどのように書きますか。同じ文字でも人によって、またはそのときの感情によってさまざまな書きぶりで表現されます。

文字で感情を伝えてみましょう（大きさ、濃さ、太さ、形など）

楽しい	→	
悲しい	→	

嬉しい	→	
怒り	→	

筆運びのリズムや線の太さ、墨の濃淡からどのように感じますか？



4

作品の特徴を見つけてみましょう。

どんな印象ですか？ また、どこからそう感じましたか？



5

作品の特徴を見つけてみましょう。

どんな印象ですか？ また、どこからそう感じましたか？

文字やその表現が人それぞれ異なるように、作品を鑑賞して感じることも人それぞれです。感じたことをもとに、作者はなぜこのように書いたのか、どのような気持ちで書いたのかを想像してみてください。

書を彩る鑑賞シート 3

3 鑑賞の仕方は自由

まずは作品タイトルや解説を見ずに、作品を見つめてください。文字が読めなくても、意味が分からなくても、遠目から眺めて作品全体を味わってみましょう。一部に注目して、線や点など、書を構成する要素のひとつひとつを分析してみてもよいかもしれません。

何が書かれているか自由に想像してみましょう。



12

あなたならどう表現しますか？

この作品のタイトルは《無》です。あなたならどのように表現するか、言葉で説明したり、実際に書いてみたりしてください。



17

作者はどんな「無」を書こうとしたのでしょうか？ また、どのように書こうとしたのでしょうか？

あなたが想像する「無」を書いてみましょう。

作者の感情を考えたり、自分なりに解釈してみたり、解説を読んで理解を深めたり、鑑賞にルールはありません。作品鑑賞をとおして、自分なりの“彩り”をみつけることはできましたか？

この鑑賞シートはお持ち帰りいただいても、入り口付近のテーブルにあるファイルに綴って帰ってもかまいません。